

東久留米市環境審議会 会議録

1. 会議名 平成 29 年度第 2 回東久留米市環境審議会
2. 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 午前 10 時 00 分から午後 12 時 00 分
3. 場 所 東久留米市役所 7 階 703 会議室
4. 出席委員氏名（敬称略） 杉原弘恭（会長）、水戸部啓一（職務代理者）、大山久仁夫、重藤さわ子、宮川正孝、猪股良子、齋藤朋矢、三間優子、牛谷昌弘、大坪満（以上 10 名）
5. 欠席委員氏名（敬称略） 濱中冬行 宗友之
6. 事務局職員名 山下環境安全部長、小泉環境政策課長、小平計画調整係長、浅海緑と公園係長、齊藤計画調整係主事
7. コンサルタント会社（アジア航測株式会社） 藤原真太郎
8. 傍聴人 なし
9. 次第
 - (1) 議 題
 - ①平成 29 年度第 1 回環境審議会会議録の確認について（資料 1）
 - ②東久留米市第二次緑の基本計画中間見直しについて（資料 2、資料 2-1～2-4）
 - ③かんきょう東久留米 28 年度版について（資料 3）
 - (2) その他
 - ※環境政策課からの報告
 - ・環境シンポジウムについて（資料 4）

10. 配布資料

- 平成 29 年度第 1 回環境審議会会議録（案） …資料 1
- 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略（素案） …資料 2
- 第二次緑の基本計画中間見直しスケジュール（案） …資料 2-1
- 東京都意見照会結果と検討部会見解 …資料 2-2
- 掲載コラムについて …資料 2-3
- 関連基礎解説案 …資料 2-4
- かんきょう東久留米 28 年度版暫定版 …資料 3
- 環境シンポジウムアンケート集計結果 …資料 4

11. 平成 29 年度第 2 回環境審議会

- ・ 出欠席者の報告 出席 10 名、欠席 2 名、定足数に達しており会議は成立

(1) (議題①) 平成 29 年度第 1 回環境審議会会議録の確認について（資料 1）

【事務局】（小平計画調整係長）

- ・ この資料は、前回、10 月 6 日に開催された平成 29 年度第 1 回環境審議会の審議内容について要点筆記したもので、前回会議終了後に、メールをお送りし、各委員からの指摘事項を反映したものである。
- ・ その後、修正等がないようであれば、発言者の名前を伏して公開したい。

【会長】

- ・ 他に意見がないため、会議録として確定して公表する。

(2) (議題②) 東久留米市第二次緑の基本計画中間見直しについて（資料 2、2-1～2-4）

【会長】

- ・ 第二次緑の基本計画中間見直しについて市から諮問を受けて、検討部会を設置し検討していくものとしている。
- ・ 検討部会には、私と水戸部職務代理が出席している。
- ・ 前回 10 月 6 日以降、2 回の検討部会を開催して検討を行った。その状況を報告するとともに、皆さまの意見を頂き、今後の検討につなげる。
- ・ 検討部会での検討状況について事務局から説明をお願いする。

【事務局】

- ・ 資料 2-1 に基づいて、中間見直しのスケジュールを説明する。
- ・ 前回審議会以降に、審議会でもいただいた意見を検討しその結果を素案に反映した。また、東京都への意見照会を行っている。
- ・ 本日の審議内容を踏まえて市への報告を行い、12 月 15 日号広報においてパブリ

ックコメントを実施する。なお、11月19日に開催した環境シンポジウムでもそのアナウンスを行った。

- ・検討部会では並行して、市民による観察や、市民団体や市において、調査を行うことのできる生きものの代表種の選定、計画書の細部についての検討を行っている。
- ・それらの結果を踏まえ、来年1月開催の審議会で審議いただき、市への答申を行う予定である。市では平成29年度中に計画の見直しを完了する見込みである。
- ・資料2に基づいて、前回の審議会からの変更事項を中心に、素案の内容を説明する。
- ・第2章を「中間見直しに向けた課題と方向性」として、文章を整理した。
- ・計画全体をとおして、指摘があった文言の修正を行うとともに、表現の固い部分や、単語のばらつき等を修正した。
- ・注釈は、別資料「関連用語解説」にまとめて掲載することとした。コラムは別資料で用意した。
- ・(目次)まとめて1ページに収まるように見直した。
- ・(p6-7) 水と緑と生きものの現況をまとめ、その結果を見開きで掲載した。
- ・(p22-p32) 18の拠点については、計画の中心をなすものとして、現計画と同じ位置での掲載とした。
- ・(p25) 特別支援学校は新たな学校名が決まらないため(閉校中)という表現とした。
- ・(p63) 個別目標毎の点検評価項目に亜鉛に加え、ノニルフェノール・LASの測定値を追加した。
- ・資料2-2のとおり、東京都への意見照会を行い、検討部会としての見解を整理している。
- ・資料2-3のとおり、掲載コラムについて別に整理している。なお、コラムはパブリックコメントの対象とはしない。
- ・資料2-4のとおり、用語解説として、計画に登場しない用語も含めた関連基礎用語解説を作成して、計画書に加えていく予定である。

【会長】

- ・用語集は、並行して整理・作成中である。
- ・国、条例で指定区域等の名称が同じで分かりにくいこともあるので、記載は工夫すること。
- ・東久留米市内には小中学校の環境副読本が存在しないので、市内の小中学校に配布して、教師用にでも授業で活用してもらいたいことも想定している。

【委員】

- ・小学校4、5年で総合学習を行う学校が多いと聞いている。企業が学校と共同して副読本を作成する事例もあるようだが、この計画の現時点での内容は、小学生には難しい可能性がある。

【会長】

- ・別途作成しているコラムは、各々の施策の説明を補助することを想定している。
- ・この緑の計画は、緑と生物多様性が一緒に扱われていることが特徴であり、行政、住民、事業者が一体となつてとりくめるように、親しみやすく、分かりやすい計画になるよう、意見を頂きたい。

【委員】

- ・コラムは市民に関心を持ってもらえるような文章とした。前回審議会での指摘を踏まえて修正しているが、不十分な点があれば意見をいただきたい。
- ・計画の将来像は、市民が自分たちの住む地域を分かりやすく解説するために掲載しているものであり、この計画の中核を担っていることから、現計画と同様に計画の前段に残している。
- ・p2の冒頭文は、計画の法的な位置付だけでなく、高度経済成長期で失われた緑や、それを取り戻す取り組みなど、東久留米市のこれまでの歩みも踏まえた書きぶりに修正している。

【会長】

- ・この計画は、過去を踏まえて現在から将来に向かっていくものなので、過去の環境を説明するために、冒頭文に経緯を加えている。
- ・また、市内にずっと住んでいる委員の方に、昔の環境をコラムとして整理してもらっている。

【委員】

- ・過去の写真がコラムなどに掲載されていると良いだろう。

【委員】

- ・p6,7は写真があり華やかである。一方で、地図が地味に感じるので、煩雑にならない程度に学校や公園などの名称が記載されているとよいだろう。市民が自分たちの住んでいる場所を見つけやすい記載になっているとよいと考える。
- ・全体のバランスもあるが、コラムなどにも写真が掲載されているとよい。

【委員】

- ・この地図の柱は、緑、河川、生きものであるので、解説の文字は本文と同じ程度に小さくてよいので、緑、水、生きもののバランスをとった構成にすること。
- ・また、田畑が茶系統の色で表現されており、砂漠のような印象をうける。色づかいを工夫すること。

【委員】

- ・「水と緑と人のネットワーク」を掲げているが、「人」が写っている写真が少ない印象を受ける。

【委員】

- ・表紙に人の写真を掲載する予定である。

【委員】

- ・p63の「亜鉛」は「全亜鉛」とすべきである。
- ・コラム4に記載されている「多摩川の植物」について、多摩川水系と荒川水系が野火止用水によって繋がったことは大きな問題であると考えている。
- ・関連用語集 p7の「湧水点」について、湧水点の定義は「DOが8mg/L「以下」ではなく、「8mg/L「以上」ではないか。

【事務局】

- ・湧水のDO値は低く、「以下」の記載で誤りではない。

【会長】

- ・説明に補足をいれるとよいだろう。

【委員】

- ・p5「東久留米市の地形」図はもう少し広域にできないか。あるいは、東久留米市にしなかった意図はあるのか。

【会長】

- ・古多摩川の谷地形を説明するために作成したものである。
資料編「東久留米の土地の成り立ち」に移そうと思っている。

【委員】

- ・構図は今のままとして、東久留米市をより強調して示すとよいだろう。

【委員】

- ・p6,7の図面において、生きものの種名を示してほしい。

【事務局】

- ・記載する。

【委員】

- ・p17-19について、旧計画では「計画の基本理念」と「将来像」を2ページにまとめていたが、写真の配置等を考えて構成を検討している。

【委員】

- ・「コラム5 人口減少社会における緑の確保について」について、平成29年までの状況を踏まえた書きぶりに修正すること。
- ・「コラム7 グリーンインフラと雨水」について、緑の基本計画では社会インフラの老朽化まで言及しなくてもよいのではないか。

【会長】

- ・コラム5では、指摘の内容を反映させるとともに、平成31年で年号が変わることから、書きぶりを工夫する。
- ・コラム7では、アメリカEPAの定義に基づいて記載している。コラム5とコラム7とは相互に補完できる内容もあるので、書きぶりを検討する。

【委員】

- ・本文中で重複している写真があるので、確認すること。

【委員】

- ・p6,7の地図では、道路や線路を目印として示してもよいだろう。

【委員】

- ・市内外の表現に濃淡をつけてもよいだろう。

【会長】

- ・以上の意見を踏まえて修正を行い、パブリックコメントにかける。パブリックコメント用の原稿は各委員に共有する。その他に気づきがあれば、事務局まで連絡してほしい。

(3) (議題③) かんきょう東久留米28年度版について (資料3)

【会長】

- ・かんきょう東久留米28年度版について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

- ・前回の会議後、暫定版の内容を確認いただき、修正事項の指摘を反映した。
- ・28年度「環境審議会からの評価」として整理した。
- ・進捗管理を行う観点が必要との指摘から、「課題と今後の進め方」という項目を追加した。評価が×となったものを中心に掲載したが、一覧表で表しきれないため、文章で記載した。
- ・p8「水質汚濁事故への対応」は、今後の方向性に記載した。
- ・p51に環境フェスティバルでのアンケート結果を記載した。
- ・内容を確認いただき、問題なければ正式に発行する。

【会 長】

- ・平成 29 年に実施した環境フェスティバルのアンケート結果は、実行委員長からの提案も頂き、環境基本計画とシンクロする設問にしたので、掲載しないのもったいなく感じるが来年反映されることになる。

【委 員】

- ・p2「ごみの有料化」の目的を記載するとよいだろう。

【事 務 局】

- ・記載する。

【会 長】

- ・p21「接続ミス」という表現が難しい。他にも含めて表現を見直すと良いだろう。

【委 員】

- ・p2,3,4 を読めば全体像を把握できるので、分かりやすく整理されていると感じる。

【会 長】

- ・数年かけて、読みやすくなってきている。

【委 員】

- ・p51 アンケートの結果について、東久留米市のように「豊かな水」に対する住民の関心が高い自治体は多くはない。このことについて、本文中で言及してもよいのではないか。

【会 長】

- ・以上の内容で問題なければ、これを最終版とする。

(4) その他①（環境シンポジウムについて）（資料 4）

【事 務 局】

- ・【資料 4】 環境シンポジウムを 11 月 19 日（日）に市役所屋内ひろば開催した。
- ・内容は、検討部会の委員さんが指導している市内の小学校 2 校、自由学園の研究発表、検討部会委員さんからの生物多様性の保全活動の発表であった。
- ・緑の基本計画の中間見直しパブリックコメントのアナウンスも行った。
- ・開始時の来場者を数えたところ 104 名と盛況であった。
- ・アンケート結果は資料のとおり。小学生の発表が好評であった。
- ・会場の不便さの指摘もされた。審議会の委員にも多数来場いただいたことを御

礼申し上げます。

【会 長】

- ・最初から最後まで熱心に発表を聞いていた小学生もいた。緑の基本計画は将来に向けて発信していくものであるので、心強い。

【委 員】

- ・市内で活動している方々の生の声を聴いてもらうことができてよかった。
- ・次回はもっと多くの人に参加してもらいたい。
- ・このイベントをきっかけとして、実際に行動を始めることで、本当の保全活動がスタートするものと思う。
- ・なお、緑の基本計画の告知は若干硬かった印象がある。

(5) その他②（次回日程について）

【事 務 局】

- ・次回の審議会は、パブリックコメントの日程を踏まえて調整する。

(6) 閉会

【会 長】

これで本日の議題はすべて終了した。これをもって、平成 29 年度第 2 回の環境審議会を終了する。